独立行政法人地域医療機能推進機構　仙台南病院　2025年4月号　VOL.44

連携室だより

Japan Community Health care Organization SENDAI MINAMI Hospital

ジェイコー
JCHO仙台南病院

［病　院　の　理　念］

本院は、地域社会における中核的な先進医療保健施設として、地域医療の充実と国民保健の向上に貢献します。

［病院の基本方針］

1.急性期医療を担う地域の中核病院として、安全かつ良質な医療を行うために適切な説明と同意に基づいたチーム医療を推進します。

2.地域の医療・介護福祉施設と連携を図りながら高齢者にも対応できる幅広い医療を提供します。

3.個人情報は厳格に保護し、診療内容に関しては真実説明で対応します。

4.全職員が自己研鑽に励みながら一丸となって地域医療に取り組みます。

新年度のご挨拶

院長　朝倉 徹

皆様日頃より当院が大変お世話になっております。当院の桜も満開を過ぎ、草木の緑がいよいよ濃くなってまいりました。

さて、数年続いた新型コロナ感染症の蔓延は収まりポストコロナという次のステージに入ってきました。そして医療を受ける患者さん達の認識も変わってきたように感じます。病院経営の観点からは厳しい時代に入ってきていることを痛感します。当院の外来患者数、特に延べ人数はコロナ前と比較して 20%近く減少しております。当院の外来は従前から長期処方を行っておりますが、さらに通院回数が減ってきているのが現状です。外来収益は単純計算が難しいものの減収となっているはずです。

そのため入院診療の収益を上げることが必要であり、コロナ以前 70%以下だった病床利用率は昨年度の平均で 80%近くまで上昇しております。これはクリニックの皆様をはじめとする地域のニーズに応えることでより広い患者層を受け入れていることが要因かと思われます。急性期疾患のスムーズな受け入れとポストアキュート、亜急性期患者の受け入れを同時に増やすことで達成できたと考えております。このところ物価高で材料費や人件費の増加など経費が嵩んでいることから利益はそれほど上がっているわけではありません。従って今年度もこの入院数を維持することは健全な経営には必須の条件と考えております。

当院は昨年から登録医の先生方からの紹介は外来予約なら連携室のみの判断で行い、当日受診も時間内なら原則対応することにしております。特に消化器領域に関しては外科も含めて急患対応を取っておりますので、いつでも気軽にご紹介頂ければと思います。

就 任 のご挨 拶

事務長　吉田 茂生

令和７年４月１日付で二本松病院から遠藤事務長の後任として着任しました。

７年前、仙台南病院から船橋中央病院(399 床)へ異動となり総務企画課長として３年間勤務した後、４年前に二本松病院(160 床)へ新任事務長として赴任し、ようやく仙台南病院に戻って来ることができました。

船橋中央病院は規模が大きく、患者数・職員数も仙台南病院の数倍あり、慣れない土地で日々の業務に忙殺されつつ、新型コロナウィルスではダイヤモンドプリンス号感染者対応をはじめ、地域の中核病院としての役割を果たすべく千葉県や船橋市、船橋市医師会との連携を図りながら対応にあたりました。

二本松病院では慢性的な医師不足に悩まされており、福島県立医大の理事長や関連講座へ何度も足を運んだほか、地域医療連携のための開業医の先生方や近隣病院への訪問活動、二本松市保健福祉部担当者との情報共有など、厳しい環境下、院長や看護部長、病院スタッフと協力しながら病院運営にあたってまいりました。

自分で言うのもおこがましいですが、以前、仙台南病院で勤務していた時より経験値を上げて戻ってくることができたのではないかと自負しております。

私にとって今回の異動・仙台南病院が最後の勤務地となります。

微力ではありますが今まで培った経験を少しでも病院運営に役立てられればと思いますので、皆様のご支援・ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

NST 勉強会を開催しています！

2025 年 6 月 20 日(金) 17:30～

場所　３階　旧職員食堂

内容　（仮）当院の栄養管理について

～ 入院したら、どんな栄養管理をされるのかな？ ～

当院：栄養管理室 大越裕美

当院では、年４回 NST 勉強会を開催しております

※ 別紙、同封の申込み用紙にてお申込みください

地域包括ケア病棟
レスパイト入院のご案内

2025年4月より地域包括ケア病棟は

１０床増床し ５０床

５階西病棟になりました

【地域包括ケア病棟とは】

急性期治療を経過し、症状が安定した患者さんに対応して、在宅（自宅や施設）への復帰に向けて継続的な治療やリハビリ等を行う病棟です。

【入院の対象となる患者さん】

在宅あるいは介護施設等に復帰予定で、入院治療により症状が改善、安定した後、もう少し経過観察や在宅での療養準備が必要な方となります。また、在宅療養中に介護を行っている方が休養をとるための一時入院にも対応可能です。

【入院期間】

入院期間は包括ケア病棟に入院・転棟後、60日が限度となっております。一般病棟から地域包括ケア病棟へ移動は主治医が判断し、患者さんとご家族に提案させていただきます。ご了解いただけた場合、地域包括ケア病棟で、継続入院となります。なお、担当する医師に変更はございません。

【レスパイトのご利用までの手順】

1. レスパイト入院のご相談
   かかりつけの先生もしくは訪問看護ステーション、介護支援事業所より
   地域医療連携室（直通）022-306-1740 へご連絡

2. 「レスパイト入院申込書」を記載し、診療情報提供書と一緒に**地域医療連携室へFAX 022-306-1741**

3. 日程調整後、当院担当者よりご依頼元へ連絡いたします

依頼書は当院ホームページよりダウンロードしてご利用ください ⇒

レスパイト入院申込書（ＦＡＸ専用）

ＦＡＸ送信先　022-306-1741

ＪＣＨＯ仙台南病院　地域医療連携室 宛

年　月　日

紹介元医療機関 又は 事業所

機関名称			
電話番号		FAX番号	

患者情報

フリガナ		性別	男・女
氏名		生年月日	T・S・H　年　月　日（　歳）
住所			
電話番号			
キーパーソン	氏名:	続柄:	
ケアマネジャー	氏名:	事業所:	

病名	
入院希望日	月　日（　）～　月　日（　）
日数	日間（2日～14日以内）
お部屋の希望	大部屋 有料室　2人部屋（¥1,100　¥2,200）　個室（¥5,500　¥7,700）

※患者様の状態によりご希望に添えない場合がございますので、予めご了承ください

現在のADL状況

食事	食事形態（主食：　副食：　）　自立・介助摂取・胃管チューブ・胃瘻
排泄	歩行にてトイレ・ポータブルトイレ・おむつ・カテーテル・人工肛門　（その他　）
移動	自立・杖・歩行器・車いす・ベッド上（エアーマットレス：種類　）
睡眠	良眠・不眠（夜間せん妄：なし・あり）（眠剤の使用：なし・あり）
酸素	あり（　L/分）・なし
吸引	あり（　回/日）・なし
認知症	あり・なし
その他の処置等	

※診療情報提供書（薬の内容も含め）のFAXをお願い致します。
申込内容を確認後、地域医療連携室より予約票のFAXにてお返事をさせていただきます。
入院日までに状態に変化があった場合には、事前に地域医療連携室（電話 022-306-1740）までご連絡ください。

糖尿病 患者様のご紹介について

いつも当院へご紹介いただきまして、ありがとうございます。
糖尿病（教育入院要）の患者様のご紹介につきましては事前に
地域医療連携室へ診療情報提供書のFAXをお願いいたします。

通常の外来ではなく、水曜日での受診調整をさせていただきます。
（ 通常の外来よりスムーズです ）

ご紹介・ご予約は、地域医療連携室(直通:022-306-1740)で
お受けしておりますので、お気軽にご連絡ください。

要Check!

その他 診療科のご案内

※全ての診療科　午前診療

内科・循環器科・外科

曜日：月～金　新患受付 11:00 まで

上記以外、緊急の場合は地域医療
連携室へご連絡・ご相談ください

呼吸器内科 （ 非常勤医師 ）

入院・緊急患者受入れ不可

曜日：金　新患受付 9:30 まで

受診予約のご相談は地域医療連携室へ
診療情報提供書のFAXをお願いします

泌尿器科 （ 火曜日 休診 ）

曜日：月・(水)・(木)・金
水 手術日 ・ 木 制限あり

上記以外、緊急の場合は地域医療
連携室へご連絡・ご相談ください

整形外科 （ 要ご相談 ）

曜日：月・火・水・金

受診予約のご相談は地域医療連携室へ
診療情報提供書のFAXをお願いします

いつも当院の「連携室だより」をご覧いただき、ありがとうございます。
ご紹介、お返事等のお問い合わせはお気軽に地域医療連携室へご連絡ください。

退職医師のお知らせ

３月31日付　循環器科　(非常勤医師) 山家智之
循環器科　(非常勤医師) 黒柳浩志

発行: 独立行政法人 地域医療機能推進機構 仙台南病院 (JCHO 仙台南病院)
仙台市太白区中田町字前沖143番地 （代表）TEL 022-306-1711　FAX 022-306-1712
地域医療連携室（直通）TEL022-306-1740　FAX022-306-1741（ 平日 8.30～17:00 ）